

大分経済同友会
大地の芸術祭 越後妻有
アートトリエンナーレ2012
視察報告書
～創造都市で社会的課題解決～



平成25年3月

大分経済同友会 地域委員会

はじめに

昨年政権が交代し経済の好転が期待されているが未だ実体経済は海外で収益をあげる大企業と主として国内市場で経済活動する中小企業の収益の格差は広がりつつあるのではないかと思う。国内では少子高齢化による人口減少は市場を縮小し、単価競争する負のスパイラルをいまだ払拭できないでいる。少子高齢化は経済に大きな影響をもたらしているが人口過疎地域ではより大きな社会問題となりつつある。

ここで過疎のことについてふれておく。過疎地域の定義は法律で定められており、過去35年間の人口減少率が25%以上であること、高齢者率が25%以上または若年者（15-29歳）率が15%以下、さらに直近の財政力指数（税収などの自己財源が予算に占める割合）が低い（0.42以下）ことも要件となっている。国の過疎に関する法律も名称が、過疎地域「対策」から「振興」「活性化」そして「自立促進」と変化しているように、社会変化に合わせて内容の見直しが行われ、目的や支援の方策も変わってきた。現在の法律は平成12年より「過疎地域自立促進特別措置法」となり目的は「地域の自立促進を図り、もって住民福祉の向上、雇用の増大、地域格差の是正、及び美しく風格ある国土の形成に寄与することを目的とする」となっている。大分県では人口120万9,571人のうち、過疎地域の人口は51万5,909人で42.7%を占めている。また、過疎地域の面積は87.5%を占めている。大分県の高齢化率は（平成21年）、九州第1位、全国でも第9位の26.3%と高齢化が全国より早く進行しており、団塊の世代が高齢者に達する平成27年には、30.3%、さらに10年後の平成37年には34.3%と県民の3人に1人が高齢者という状態になると予測されている。過疎地域においては、地理的、経済的条件から高齢者独居世帯や高齢者夫婦のみの世帯が多く、将来的にさまざまな介護が必要な高齢者の比率が高くなり都市部より多くの社会問題が増えることが予想される。

このような社会的な課題解決を「創造都市」で行っている新潟県、越後妻有地域（十日町市、津南町）の視察を行った。これまでの視察は海外で創造都市により都市再生に成功した事例であり、成功体験の視察なので楽しかった。しかし、この越後妻有の活動目的は、険しい山間部の過疎地域で厳しい生活を送る高齢者の不可避で過酷な運命をいかに受け入れてもらえるかという究極のテーマである。視察した先での老人達の笑顔はとても素晴らしかった。自分が暮らす地域の老人の笑顔はそのまま将来の我々の姿である。老人が不可避な運命を受け入れて笑顔で暮らせるとはどのような工夫があるのか視察を行い、我々の暮らす大分県でも参考になる取り組みだと実感した。大分県では県立美術館を建設中だが、大分県芸術文化ゾーン創造委員会の最終答申書では「芸術文化」の拠点だけではなく「社会的」「経済的」な課題にも対応していくことを求めている。この越後妻有トリエンナーレの取り組みは、大分県にも多く存在する過疎地域が自立するための参考になると思う。



1. 越後妻有トリエンナーレ 大地の芸術祭とは

大分経済同友会地域委員会は2012年9月14日～15日大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2012の視察を行い、総合ディレクター北川フラム氏と事務局長関口正洋氏より解説をしていただいた。



会場の十日町市からコシヒカリで有名な魚沼は近い 十日町駅



総合ディレクター北川フラム氏

事務局長関口正洋氏にご案内頂いた

レンタサイクルも準備

越後妻有地域（十日町市、津南町）は積雪15m/年の日本有数の豪雪地帯であり、1964年新潟地震以降も大地震が多発している地域である（2011年長野県北部地震、2007年新潟県中越沖地震、2004年新潟県中越地震など）。そのような過酷な環境であるが故に、戦国時代より戦に負けた人々が越後妻有の山に逃げ込み集落単位で住み着いた。「土地には何もない」が地域の人たちの口癖で過酷な環境が為に長年、子供達に「都会に出て二度と帰ってくるな」と言い含め送り出してきた。その結果として高齢化→田を捨てる→過疎化が進行している。険しい山の段々畑で農作業するには集落の共同作業が必要だが過疎化でその営みも崩壊し地域の人たちはアイデンティティを喪失しつつある。その結果1980年代に入って、合併前の六つの市町村のうち2つが、高齢者の自殺率ベスト5にはいるようになるなどの社会問題も大きくなっている。高齢化率は歯止めがきかなくなっており、市民はもうすぐこの地域はなくなってしまうだろうと考えている。



険しい山間部に段々畑が整備されているが、放棄地も目立つ



山の斜面には雪崩防止柵が設置



道路の路肩にも低い雪崩防止柵が設置



木の幹が曲がっている 木が小さいとき何回も雪の重さでつぶされては起き上がってきつてついに幹が曲ってしまう 長年の雪と苦闘の歴史



住宅は降雪対策の為、1Fはコンクリート造りの3階建てが多い



美しい田園風景



付加価値の高いコシヒカリ米

「その過酷で不可避な運命をどう受け入れてもらえるか」というテーマでこの芸術祭は、新潟県内の六市町村の合併を前にした2000年から始まったプロジェクトである。土地には何もないと言われるが客観的に見ると、暮らす人々の心は豊かで、棚田の田園風景は美しく食べ物も美味しいということが分かった。都会では効率ということが最優先されるが妻有では非効率だが素晴らしい生き方がありそれを見せて表現する方法として「アート」を利用することにした。これが大地の芸術祭の始まりである。

2. 大地の芸術祭 の成果

新潟県より10年間助成するというので2000年に第1回を開催、現在で5回目となる。現在では十日町市と津南町の6つの地域、数百の集落で開催されている。訪れた人数も今回（7月29日～9月17日）は48万8848人と前回に比べ30%増加した。

開催年	入込客数	参加集落	会期中作品数
2000年（平成12年）	162,800人	28集落	146作品
2003年（平成15年）	205,100人	38集落	224作品
2006年（平成18年）	348,997人	67集落	329作品
2009年（平成21年）	375,311人	92集落	365作品
2012年（平成24年）	488,848人	102集落	367作品

集客以外では都会からボランティアがたくさん来るようになった。ボランティアは大地の芸術祭を支えるサポーター集団「こへび隊」に参加し、作品管理、作品制作、案内、雪掘り、農作業、地元の手伝いなど芸術祭に関連する活動をサポートしており、老若男女が集まり活動している。しかも次回以降も参加するリピーター率は70%を超えるという驚くべき人気がある。その人気の理由を関口事務局長は、都会で生活する個人はOne Of Them（取り替えのきくその他大勢の1人）の存在だが、芸術祭の会場ではOnly One（取り替えのきかない貴重な個人）であり、自分の役割を感じ、地域とつながる意識を持ち、地域の計画に組み込まれた満足感を得ていることが理由だと分析している。

また、最初は住民から理解してもらえずに苦労したようだが徐々に集落単位で芸術祭を受け入れるようになっていった。集落へ入り込んだアーティストは将来を考えたくない高齢者やその営みを受け入れて作品化していった。いわば営みを「見える化」していった。その結果、高齢者たちの意識は、たくさんの人たちが訪れ作品や集落を認めてくれることで歓びに変わっていった。ボランティアや訪れる人との交流でもう少し頑張ろうと前向きになっていった。3年に1度の芸術祭だが間の2年間も集落の祭りやアーティストとの交流や制作で楽しめるようになってきている。このような社会的効果と、芸術祭の発展と共に経済効果が現れてきており、2012年には102の集落で367作品の展示が行われ488千人が訪れ、高齢者など地元の人たちを400人雇用でき、新潟県内経済波及効果は46億5千万円と報告されている（来場者による宿泊や飲食費など消費支出が約29億6500万円）。



「Soil Museum もぐらの館」3年前に閉校したばかりの東下組小学校を、土を体感し土の魅力を伝える美術館として再生した



丸いゲートをくぐる・・・もぐら



高齢者が活躍しています



廊下は「もぐらの土道」という作品



「もぐらの土道」は建築家の日置拓人と、左官職人の本田匠によるアートな廊下



本田裕紀「土壌モノリス」日本の土 1 万年のプロフィール 地層断面の切り出し



本田裕紀「今度生まれて来る時もまた」蓮の花は極楽浄土



ミュージアムショップもあり地域特産の魅力的な食の製品が並ぶ デザインで味付けされた「すいか糖」¥2100 を購入後日調べたら 2012 年末に東下組のすいか糖（東下組生産組合）がアジアデザイン賞の金賞を受賞した この賞は、中国・香港で開催される国際デザイン賞で単なるデザインの優位性だけではなく、企業価値の向上とブランディングの秀逸さ、それに伴う商業的成功を評価指標としている すいかのように見える包みをひらくと実のような赤い商品説明があらわれる すいか糖は Rooots 名産品リデザインプロジェクトで地元メーカーとクリエイターに公募した結果である 他にも魚沼手繰りそば（小嶋屋総本店）が銀賞、天神囃子特別純米酒（魚沼酒造）が銅賞受賞、各 Rooots 名産品は 2006 年比売り上げが 3～20 倍に増えた



「うぶすなの家」は大正 13 年に作られた茅葺きの古民家を「やきもの」で再生したミュージアム&レストラン



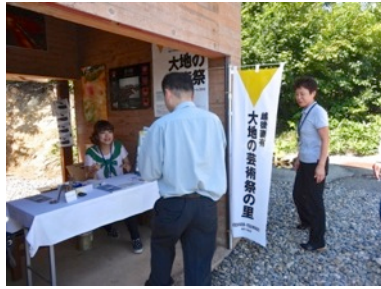
運営は地元の主婦たちが当番で切り盛りしている 当番の人は、その日のメニューを使う野菜を自分の畑から収穫



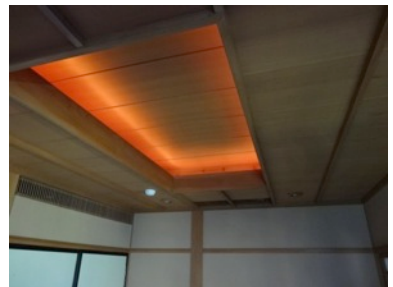
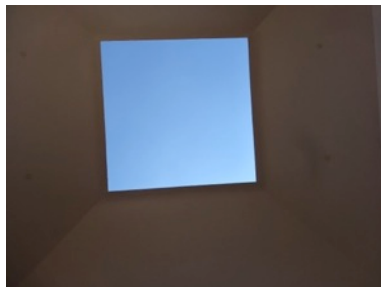
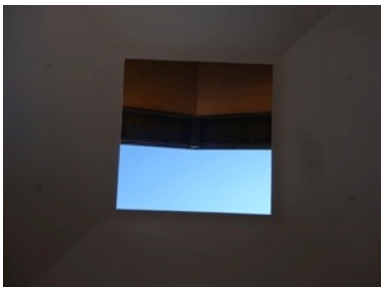
米を炊く「かまど」も鈴木五郎のアート作品 「風呂」澤清嗣、「洗面台」吉川水城、いたるところに陶芸作品が



「下条茅葺きの塔」 別府の永久別府劇場を手がけた「みかんぐみ」と神奈川大学曽我部研究室の共作
周囲にはフィリピンイフガオ地区との交流による「下条プロジェクト」キドラット・タヒミック×小沢剛が制作



宿泊施設「光の館」 作者ジェームス・タレルは谷崎潤一郎の『陰翳礼讃』を参考に制作した



タレルの他作品にも見られるように屋根が開いて空を見ることができる 直島のオープンスカイ同様に日没時に光のショーを見ることができる 伝統的な日本家屋は自然光と間接照明を配した光にあふれる



絵本作家田島征三と鉢集落の人々「絵本と木の実の美術館」 廃校になる真田小学校を舞台として実在する最後の生徒3人を主人公とした空間を使った立体的絵本



水の水力や自転車をこぐ人力で校舎内のオブジェが動く 写真は自転車をこぐとオブジェの太鼓が演奏される



作品は最後の在校生3人が小学校から旅立っていくところで終わっている

水で動くバッタ (鹿脅し)



竹のパークッション楽器

「どうらくオルガン」小屋全体が楽器



カフェでは地元野菜を販売 とても味が濃くておいしい

そばもおいしい



新しく十日町市の中心市街地が舞台に 空き店舗が目立つ典型的な衰退が目立つ地方商店街 空き店舗対策をアートで実施

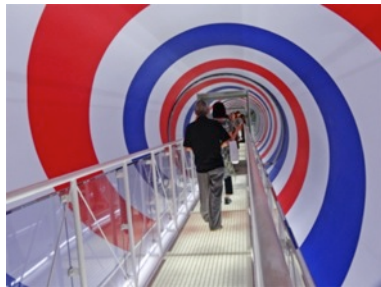
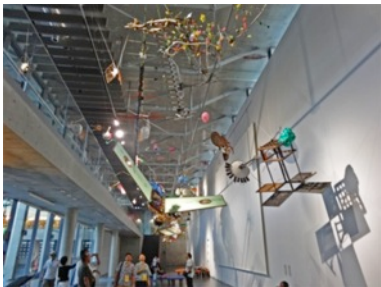


「新・北越奇談～神話の再生」石原延啓 市民からのメッセージをジグソーパズルに「Growing Memories」上西エリカ



越後妻有里山現代美術館「キナーレ」

クリスチャン・ボルタンスキー「No Man's Land」9 トンもの古着をクレーンでつかみ揚げ、落とす・・・その繰り返し（クレーンは有人）インパクト大



ゲルダ・シュタイナー&ヨルク・レンツリンガーの作品

カールステン・ヘラー「Rolling Cylinder, 2012」理容店のサインが回る

レアンドロ・エルリッヒ「トンネル」大きさと遠近感がなくなる不思議な体験



越後しなのがわバルで夕食

夜になって停止してもインパクトあり

夜遅くまでボランティアの皆さんが打ち合わせ



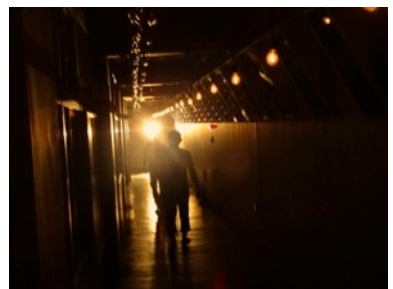
松之山エリアでベルリン在住の作家、塩田千春の「家の記憶」集落の人たちのいらなくなった服を糸にして家中に糸を張りめぐらせ100年以上経つ古い空き家の記憶を表現した作品



この糸の総延長4.4km すごく緊張感があり印象深い ボランティアの高齢者にはこやかに対応してくれたが彼の子どもは神奈川県に住んでいて将来帰ってくることはないと言っていた



閉校した東川小学校をクリスチャン・ボルタンスキーと舞台美術など手掛けるジャン・カルマンが作った「最後の学校」



実際は真っ暗な空間で目が慣れるまで不安感が高まる まるでSFかホラー映画のような作品群



十日町市立里山科学館越後松之山「森の学校」キョロロ アートのある自然科学館で里山の自然を体験学習できる



森の昆虫解説



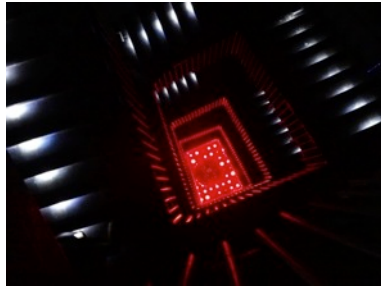
本物の昆虫を直接触れる



水に住む生き物も触れる



展望台



展望台階段はアート



昆虫展示に混じってアートな蝶も



マリナ・アブラモヴィッチによる強烈なアート「夢の家」 100年以上経つ古民家を使った宿泊施設



夢を見るために宿泊して備え付けの「夢の本」に見た夢を記入することが目的のアート作品



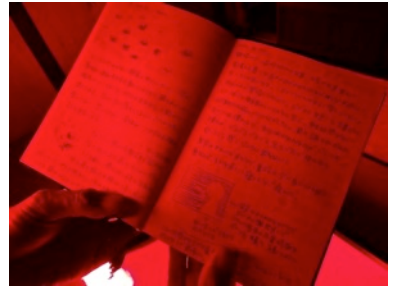
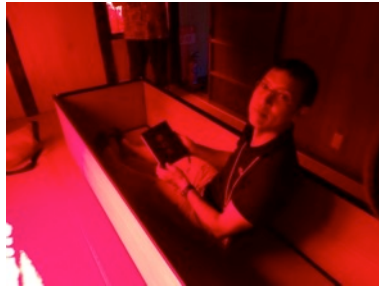
テレパシー電話（電線は切れてる）



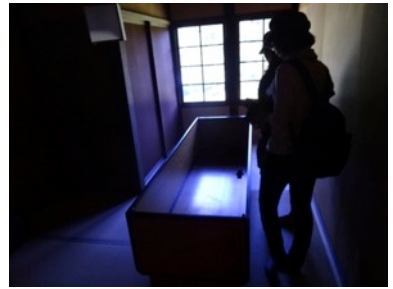
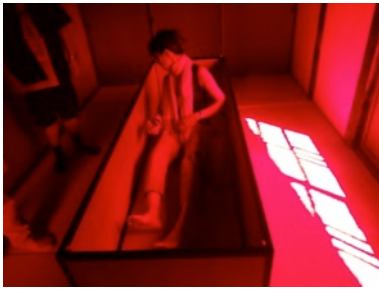
宿泊者が身を清める銅製の風呂



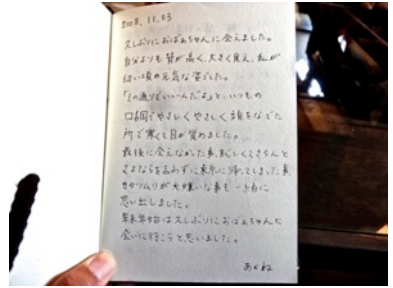
夢を見るためのスーツ（パジャマ）なぜか12個の磁石が各所に仕込まれている



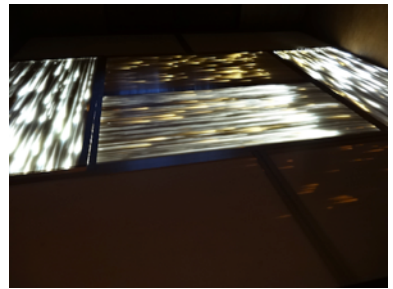
そして夢を見るために眠る場所は・・・なんと棺桶 棺桶の中に「夢の本」が備え付けられており目が覚めてすぐに記入できる 枕は石で固い



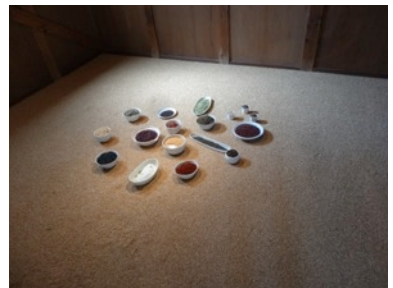
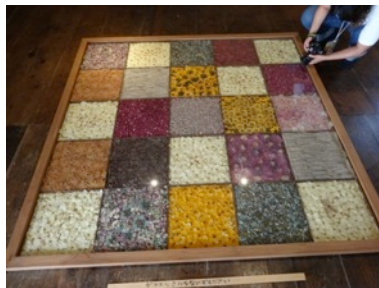
部屋は赤・緑・紫・青・の4部屋がある 眠れない宿泊者もいるという



宿泊者が書いた「夢の本」は読むことができる 例えば「久しぶりにおばあちゃんに会えました。自分よりも背が高く大きく見え私が幼い頃の元気な姿でした。「その通りでいいんだよ」といつもの口調でやさしくやさしく頭をなでた所で寒くて目が覚めました。最後に会えなかったこと、恥しくてきちんとさよならを言わずに東京へ帰ってしまった事、カタツムリが大嫌いな事も一緒に思い出しました。年末年始は久しぶりにおばあちゃんに会いに行こうと思いました。」アートは人の感情を高めてくれる

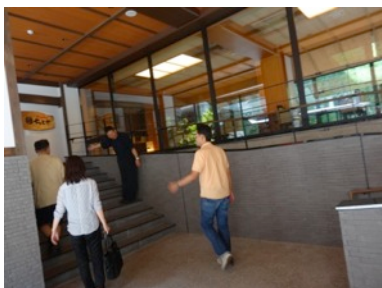


「夢の家」の屋外には収穫前の米 隣には「収穫の家」 ロビン・バッケンの「米との対話」



ローレン・パーコヴィッツの「風景の部屋」 右は「収穫の部屋」 ひきつめた米の上に雑穀

経済効果で注目したいのは各旅館が始めた「にいがた朝ごはん」プロジェクトである。もともと大地の芸術祭は新潟県が10年間のみ援助するという計画で期間が満了して終了しようとしたところ、旅館組合が最初に継続を要望した。それだけ経済効果もあがっている結果である。そして、各旅館は、芸術祭のその土地でのみ楽しめるサイトスペシフィックなアート作品が魅力となっていることを参考にして、各旅館がその旅館の地域特性を活かしたその旅館でしか味わえない朝ごはんを提供しようとしてプロジェクトを始めた。コシヒカリ米というキラーコンテンツをベースにしながら地域の食文化の再発掘と新しい味覚との出会いをプロデュースした旅の楽しみが「にいがた朝ごはん」プロジェクトだ。我々も食べてみたが確かに食文化を活かした料理であり堪能した。芸術祭のアートをヒントに従来の食を創意工夫し付加価値をつけ商品化を行った良い事例である。経済産業省の提唱するクリエイティブ産業化の事例にもなると思う。このような相乗効果も注目に値する。



日本三大薬湯の松之山温泉にある「ひなの宿ちとせ」で「にいがた朝ごはん」プロジェクトについて説明を受けるプロジェクトは県内21地域・142軒が実施するまで取り組みは広がっている



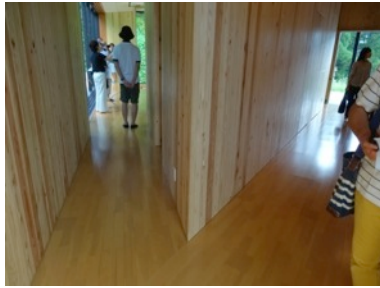
里山の朝ごはん「やたら朝まんま」「やたら」とは夏野菜をやたらに細かく刻み混ぜ合わせたもので夏の滋養・健康食品として松之山に伝わる郷土料理、「玄米粥」と「里山のっぺ」もつく



他に味噌汁の具材、野菜サラダもフルーツも全て地元産の食材



松之山温泉地区、撤退したコンビニあとには「里山ビジターセンター」観光案内の他に、農産物や地元産品の産直や電動アシスト自転車のレンタサイクルなどをおこなっている



2000年の第一回芸術祭から大地の芸術祭にアーティストが参加しているオーストラリア そんなオーストラリアのアートを紹介し日豪交流を恒常的に行う場として2009年オーストラリア・ハウスが作られたが、2011年3月に発生した長野県北部地震により倒壊した 2012年オーストラリア大使館と豪日交流基金の協力のもと国際コンペを開催しアンドリュー・バーンズ・アーキテクト(オーストラリア・シドニー)の設計が採用され再建した



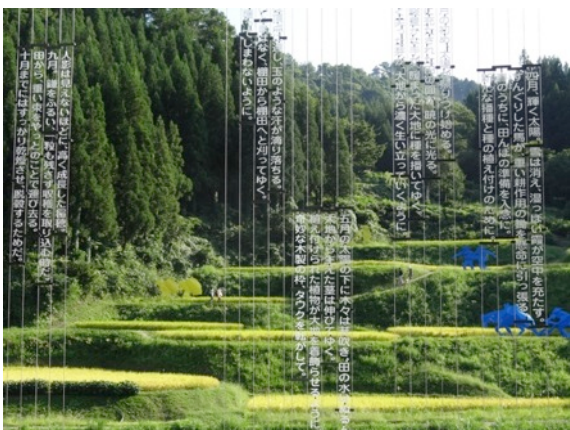
まつだい雪国農耕文化村センター(まつだい「農舞台」)オランダの建築家グループMVRDVが設計した「都市と農村の交換」がテーマの総合文化施設



地域資源を発掘し発信する 食、買い物、イベント、体験などのプログラムを通して松代の雪国農耕文化を体感する



屋内外には、約40のアート作品が点在している



イリヤ&エミリア・カバコフが棚田に立てた農民のシルエット風の彫刻作品「棚田」

草間彌生の「花咲ける妻有」



豪雪地帯では雪かきは日常生活で不可欠な営みである。特に道路の除雪作業は交通インフラを支える大変重要な作業である。その作業は夜から翌朝7時頃までに完了するように行われる。深夜作業であり日頃目立たない存在だが地域では非常に重要な仕事ということは認識されている。そんな縁の下の力持ち的存在の象徴である除雪車でなんとシェークスピア「ロミオとジュリエット」をモチーフにしたバレエを興行した。ミエレル・レーダーマン・ユケレス作の「スノーワーカーズ・バレエ2012「雪上舞踏会」」である。



除雪車の機能美、巧みなドライビング、コミカルな表現、特に除雪車で繊細なラブシーンの表現には感激した。このバレエで除雪車と作業員は完全にヒーローになった。興行終了時の作業員の挨拶もかっこよく、それに答える観客の興奮ぶりも日頃の尊敬、感謝が根底にあるからだろうと思う。アートがその気持ちを「見える化」して心を結びつけることができた成果だと感じられた。豪雪地帯という地域特性をアート化し、社会的な効果をあげていることに感動した。



雪上舞踏会の舞台、妻有大橋河川敷の駐車場 曲がりくねったり隆起したり・・・大地震の影響か・・・



実は、フランスの R&Sie 建築事務所のアート作品 「アスファルト・スポット十日町」

北川フラム氏が大地の芸術祭の四つの特徴について説明をしている。第一に、場所の力を引き出す仕掛けとしてアートを使ったこと。第二に、サイトスペシフィックなアートであるが故に住民の反対や批判がありコミュニケーションを取り続けていくことにより人と土地のつながりが強くなっていった。第三に、面白いアート作品に人が集まること。映画や巡回する企画展はどこでも見ることができるがサイトスペシフィックなアートなので現地に行かなければ楽しめない。第四に、観客が増え観光産業が成り立つことになった。結果的に村が元気になった。特に第4回目の2009年から地元の高齢者が作品や自分たちについて語り始めたという。

通常芸術祭は都市型のものが多く創造都市の手法を用いて都市の再生やにぎわいづくりを目的としているものがほとんどである。それに比べると大地の芸術祭は越後妻有という険しい山間部で開催されており目的も、過疎地域の高齢者に不可避な運命を楽しく受け入れてもらうという過酷な目的だがかなり達成しつつあると感じた。

越後妻有地域は大分県で言うなら日田市の中津江や上津江、下津江に相当するような場所である。そのような山間部のみならず大分県内の土地の87%は過疎地域であり高齢化率は上昇を続けており社会的課題解決に向けての取り組みが必要になっている。このような取り組みは行政だけでは無理だと思う。実行組織は民間が主導し行政も参加するNPO組織が望ましいが、独立採算が見込めない事業目的なので資金的なサポートを行政が担保することが肝要だと思う。また、大地の芸術祭が課題解決できるまでに12～15年かかったことを考えるならば早い取り組みを望みたい。

大分県では大分県立美術館建設を契機として他組織や他地域とのネットワーク機能を充実させ、本来の芸術文化振興だけでなく県内各地に経済的効果や社会的課題解決に向けて活動を計画している。一見、芸術文化と過疎問題は無関係だと思われがちだがこのような創造都市を使って成果を出している地域もあることを参考にして取り組みを期待したい。



	氏名	企業名	役職名
1	尾野 文俊	鬼塚電気工事株式会社	代表取締役社長
2	三浦 宏樹	株式会社日本政策投資銀行大分事務所	所長
3	橋本 均	株式会社マリーンパレス	代表取締役社長
4	板井 良助	有限会社但馬屋老舗	代表取締役社長
5	吉田 祐一郎	吉伴株式会社	代表取締役社長
6	有松 一郎	大分中央ホールディングス株式会社	代表取締役専務
7	板井 ひとみ	有限会社但馬屋老舗	常務取締役
8	木ノ下 結理	COLORS CREATE	
9	佐野 真紀子	株式会社日本政策投資銀行大分事務所	
10	長濱 龍一郎	パナソニック電工株式会社中央エンジニアリング総合部環境計画推進グループ	グループ長
11	宮内 裕和	府内産業株式会社	代表取締役社長
12	姫野 妙子	株式会社 J T B 九州大分支店	

越後妻有アートトリエンナーレ2012 大地の芸術祭視察

月日	日程	行程	宿泊地
9/13	(木)	<p>A プラン参加者 5名様(尾野様、橋本様、有松様、板井良助様、板井ひとみ様、添乗員姫野) 集合:9:45 大分空港 ANAカウンター前。 * 航空券はこちらでお渡しします * 大分駅~大分空港「空港バス回数券」...お入り用の方は、お申し付けください。(別途料金)</p> <p>(ANAスーパー宅空便のご案内) 荷物1個あたり@1,000円 ※現地お支払い ご搭乗日に空港で預けられた荷物を東京 羽田発(コムズ銀座)までお荷物をお届けできます。 ご利用後の見学時間が限られておりますので、到着後はホテルに立ち寄り、都内美術館見学へご案内いたします。見学必要のない、大きなお荷物はこちらの宅配のご利用をお勧めいたします。 (※羽田到着後12:00の便まで対象。お預け前に遅延がないか確認させていただきます。)</p> <p>ANA194便 大分空港→(モール)→羽田空港 昼食は【機内にてお弁当】 10:20 11:55</p> <p>羽田空港発→(モール)→浜松町駅→(JR京浜東北線 150円)→東京駅着(徒歩6分)</p> <p>●プリジストン美術館 (中央区京橋) 見学時間:13:00~13:50 開館60周年記念「ド・ピッサン、音楽と美術—印象派と象徴派のあいだで」 特別展 1,500円 (徒歩12分)三越前駅発→(東京メトロ・半蔵門線 160円)→清澄白河駅着(徒歩12分)</p> <p>●東京都現代美術館 (江東区三好) 見学時間:14:45~15:30 「特撮博物館 ミニチュアで見ると昭和の技 ウルトラマンと巨神兵」 特別展 1,400円 (徒歩12分)清澄白河駅発→(東京メトロ・半蔵門線 190円)→表参道駅着(徒歩7分)</p> <p>●根津美術館 (表参道) 滞在時間:16:30~17:00 ※ここでは特別展「平家物語画展」も行ってありますが、お時間の関係上、ミュージアムショップや根津カフェ、庭園のご見学となります。入館料 1,000円 (徒歩10分)</p> <p>●MOMAのミュージアムショップ (表参道ヒルズ) 滞在時間:17:10~17:30 (徒歩4分)表参道駅発→(東京メトロ・千代田線 160円)→乃木坂駅着(徒歩4分)</p> <p>六本木アートエリア鑑賞 (六本木) 滞在時間:18:00~18:30 ●国立新美術館(少し立ち寄り) ~21~21「サインズ、サンリブ—美術館(歩きながら見学)</p> <p>●森美術館 見学時間:18:45~19:20 「アラブエクスプレス展アラブ美術の今を知る」 特別展 1,500円 (徒歩8分)</p> <p>●夕食 六本木農園 (六本木) 03-3405-0684 19:30~21:30 秋の旬を満喫コース 5,800円 全国の農家・こざがれが作る農業体験レストラン。全国各地の農家から産く生産者の顔が見える旬の素材を中心に献立をつくりまします。 (徒歩3分)六本木駅発→(日比谷線 160円)→銀座駅着(徒歩4分) 22:00~「おく羅」 03-3574-8156 二次会のご案内させていただきます</p>	東京銀座 コムズ銀座 羽田空港 1名1室 1泊朝食付

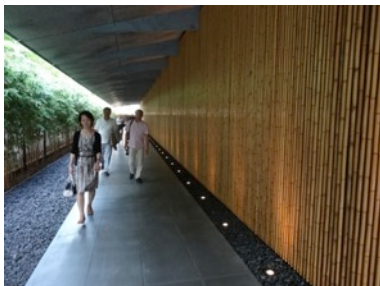
越後妻有アートトリエンナーレ2012 大地の芸術祭視察

月日	日程	行程	宿泊地
9/13	(木)	<p>B 通常プラン 2名様(三浦様、木ノ下様) * 航空券は事前にご送付します。各自チェックインの上、ご搭乗をお願い致します。 * 大分駅~大分空港「空港バス回数券」...お入り用の方は、お申し付けください。 ANA200便 大分空港→(モール)→羽田空港 18:55 20:25 * 各自、公共の交通機関でホテルへお越し下さい。 羽田空港発→(モール)→浜松町駅→(JR)→新橋駅着(4分)ホテル</p> <p>21:40頃 各自、ホテルコムズ銀座チェックイン * お前日でチェックイン可能です * ご希望の方は、下記「おく羅」にてお食事をご用意致します。 各自、お店までお越し下さい。【別紙参照】 (徒歩3分)新橋駅発→(東京メトロ・銀座線 160円)→三越前駅着(徒歩2分) おく羅 銀座本店 電話:03-3574-8156 中央区銀座6-3-6本多ビル地下1F 22:00~ * お食事代金は現地にてお支払い頂きます</p>	東京銀座 コムズ銀座 1名1室 1泊朝食付
9/14	(金)	<p>7:10 ホテル出発 * 朝食は7:00~となる為、朝食BOXをご用意します 新橋駅発→(JR)130円→東京駅着 とき307号 JR上越線 東京駅=====>越後湯沢=====>十日町駅 専用車【小型ワンマン】 7:48発 9:04/9:26 10:02着</p> <p>【十日町・川西エリア鑑賞】 * NPO法人越後妻有里山協働機構・関口事務局長様よりご案内頂きます * 予定スケジュールとなり、変更となる場合がございます 小学校・古民家再生美術館 駅前アート作品見学・アート列車 【もぐらの家】うぶすなの家=====>JR飯山線アト・フロア(下乗→越後田沢) 11:00 12:05 12:50 14:15 ジュン・メル アートが商店街活性化を担う 【死の観望学】=====>十日町中心市街地商店街作品巡り==== 14:45 15:30 16:00 16:45 2012 オープン体験型現代美術館 キーホールアートバル =====>越後妻有里山現代美術館キーホール(越後しなのがわ)バルで夕食====ホテルへ 17:00 18:30 20:30 20:45</p>	十日町 ベルナティオリゾートホテル 1名1室 1泊朝食付
9/15	(土)	<p>【松之山・松代エリア鑑賞】 廣校活用 アート自然科学館 宿泊体験作品 ホテル=====>家の記憶=====>最後の教室=====>森の学校キョロロ=====>夢の家 9:00</p> <p>最少予算で世界一の建築 フェットミュージアム・ショップ充実 =====>オーストリアハウス=====>まつだいの農務台==== 16:00 =====>スノーワーカーズ・ハレエ 2012 雪上舞踏会=====>終了後、新潟へ 16:30 妻有大橋信濃川河口散 17:30 21:00頃 ご夕食は、新潟一昨 21:00~ 予約済です</p>	新潟 新潟グランドホテル 1名1室 1泊朝食付
9/16	(日)	<p>新たな産産直スポット 2012 全国的に注目のワーナリ総合施設 ホテル=====>にぎわい市場ピア Bando! 万代シティ=====>=カブドシティワナリ=見学と昼食===== 9:00 9:15 10:00 10:45~見学/11:45~昼食 13:30</p> <p>シガール生誕 125周年記念展覧会 新潟市にて「水と土の芸術祭」が開催中 =====>新潟県立万代島美術館=====>=水と土の芸術祭アート作品鑑賞===== 14:45 15:30 15:45 16:30 ANA324便 ソニック55号 ※次便 21:03 博多発 新潟空港=====>=====>福岡空港 博多駅=====>=====>大分駅 17:10/18:05発 19:50 20:20 21:05</p>	新潟 博多 大分

<その他視察>



東京都現代美術館 特撮博物館展



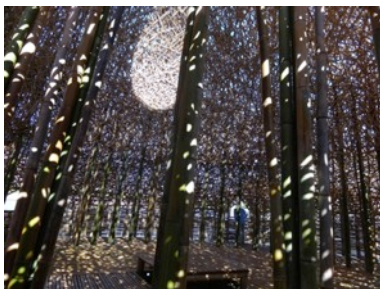
根津美術館



森美術館 アラブエクスプレス展
シャリーフ・ワーキド 千夜一夜物語



新潟市 水と土の芸術祭 王文志 パンブーハウス（竹の家）とても快適な空間



カーポドッチ・ワイナリー見学 ブルゴーニュの作り手に通じるテロワールを感じた



ワイナリーではワインも飲めるし、レストランの食事秀逸

水と土の芸術祭 万代島旧水揚場会場



水と土の芸術祭 万代島旧水揚場会場

おもしろ半分製作所

大漁旗で作られたトートバック